

第5学年 道徳学習指導案

日時：令和1年5月30日(木) 第5校時

場所：5年教室（3階）

授業者：

児童数：36名

1 主題名 誠実な心で

2 資料名 「また来てね」

<出典：光文書院 小学道徳>

3 主題構成表

内容項目 A- (2)

正直、誠実
誠実に、明るい心で生活すること。

■価値の分析

児童が健康的で積極的に自分らしさを発揮できるためには、偽りなく真面目に真心を込めて明るい心で楽しく生活することが大切である。

5年生の発達段階においては自分自身に対する誠実さが自分の内面を満たすだけでなく、誠実に生きようとする気持ちが外に向けても発揮されるように配慮する必要がある。

児童一人一人の誠実な生き方を大切にし、仲間と楽しい生活ができるよう指導をしていく。

■内容項目から見た児童の実態 (姿)

○係や委員会の仕事を進んで行う児童が多い。
△自ら進んで仲間を手伝ったり、自分の役割を最後まで自信をもって果たしたりすることが少ない。

(要因)

△自分自身に誠実に生きよとする気持ちが外に向けて発揮されていない。
△真面目に取り組むことができるが、自分の意に反して周囲に流されてしまう。

■レディネステストの結果から

「正直、誠実」の道徳的価値項目が高いのにも関わらず、道徳的行為の実践意欲が低い。これは、良い行為と知っていながら、行う自信がなかったり、迷いがあったりすることの表れである。また、全体として、「主として集団や社会との関わりに関すること」の意識がやや低い傾向にあることが分かった。

■資料の分析

本資料は、相手意識がもてず、どこかいい加減な態度でものごとに当たる主人公が、たとえ相手が幼稚園児であっても、一人ひとりを大切にしたい誠実な態度で接し、幼稚園児の喜びが自分の喜びである仲間の姿から、「誠実」な生き方について考え方や態度を変容させていく。児童には、主人公の相手意識が低い段階から、相手意識が高い段階へ変容していく心情をつかませたい。

基本発問では、相手意識が低く、誠実な態度をとれなかった自分の心の弱さに気付く主人公の気持ちをおさえたい。

中心発問では、主人公が自分の気持ちを素直に表現できないままだったが、これまでの自分を振り返り、「誠実な心で相手に接しよう」という気持ちに共感させていく。また、補助発問として、「恥ずかしくない自分とは。」という発問をすることで、児童自身の誠実な心を見つめ直させ、誰に対しても誠実に、真心をもって接していこうとする心情を育てたい。

■ねらい

健康的で積極的に自分らしさを発揮するためには、自分も、相手のことを考え、嘘や偽りない真心をもって接することが大切であると気づき、誰に対しても誠実に、明るい心で行動しようとする心情を育てる。

■展開の構想

○相手意識がもてず、どこかいい加減な態度でいた主人公の気持ちに共感させ、誠実な態度をとろうと迷う主人公の心情に気付かせる。
◎いい加減な態度の自分を正そうという主人公の心の変容の理由を考えさせ、児童自身の「誠実」な生き方を見つめ直す。
○今までの経験から、自分自身をふり返る。

■基本発問 (◎中心発問)

○「なんだか急に恥ずかしくなった。」と思ったとき、心の中でどんなことを考えていたか。
◎今までの自分からは、考えられない言葉が出たのはなぜか。
○人に対してどんな気持ちをもって接するとよいか。

4 本時の展開

	主な学習活動	指導・援助
導入	<p>1. 価値の方向付けをする。</p> <p>○委員会や係活動で一生懸命に取り組んでいる子をどう思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一生懸命に活動することはすごいと思うし、自分も真似したいと思う。 ・仲間のために任せられた役割をしっかりと果たしていることはすごいと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活（行動・行為）の振り返りをする。 ・仲間の委員会の常時活動の写真を提示し、誠実な態度について感想をもたせやすくする。
展開前段	<p>2. 資料を範読する。</p> <p>○主人公の麻衣さんの気持ちについて、「そうだなあ。」とか、「わかるなあ。」と思うところに線を引きましょう。また、そこに線を引いたわけを話しましょう。</p> <p>3. 感想を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・このぐらいでいいや。紗季はなんでそこまでするの。 ・なんだか急に恥ずかしくなった。私の絵でなく、紗季が描いたのに。でも褒められてうれしい。 ・みんなで手紙を書こう。幼稚園の子たち喜ばせたいな。 <p>4. 主人公の気持ちを考えるを通して自己を見つめる。</p> <p>○「なんだか急に恥ずかしくなった。」と思ったとき、心の中でどんなことを考えていたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男の子に申し訳ない。紗季のように丁寧に描けばよかった。(相手意識が高い) ・適当に描いたことを謝ろうかな。でも褒めてくれて嬉しい。 ・私は適当に描いたけど、このまま言わないでおこうか。(相手意識が低い) ・え、あんなことでも喜んでくれたの。 <p>◎今までの自分からは、考えられない言葉が出たのはなぜか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・恥ずかしいし、相手のために心を込めてカードを作りたいと思ったから。 ・いい加減な気持ちを変えて、相手のことを喜ばせるためにカードを作りたいと思ったから。 ・相手のことを考えることが大切だと気付いたから。 ・本当に待っている子がいたら、かわいそうだったから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援が必要な児童には本文に定規をあてながら、範読を聞くように助言する。(支援員) ・板書に場面絵と登場人物の心情が分かる吹き出しを示しながら、児童の価値理解につながるようにする。 ・線を引いた訳も発言させていくが、訳がうまく話せない児童は、線を引いた箇所だけでも発言してよいことにする。 ・主人公の心情について、自己内対話ができるようにワークシートに書かせる。 ・机間指導しながら、児童のワークシートに赤丸をつけ、児童の考えを価値付けて発言につなげる。 ・主人公の弱い気持ちに十分理解できるよう、日常生活の類似している部分と関わらせながら発問する。 ・補助発問として、「何が恥ずかしいのか、また、恥ずかしくない自分とはどんな自分か。」と問い返しをする。
展開後段	<p>5. 委員会活動や係活動で相手に対してどんな気持ちをもって接するとよいか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝のあいさつ活動で、なんとなく、あいさつしていた。これからは名前を呼んだり、相手の目を見たりして自分も相手もされてうれしいことをしたい。 ・自分の役割を果たすことは、当たり前だけれど、これからは相手がどうすると喜んでくれるかも考えたい。 ・トイレのスリッパ点検では、点検するだけでなく、全校の仲間のためにいつでも整頓したい。みんなが喜んでくれると私も嬉しいので、相手意識をもって真心を込めて活動したい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の振り返りを発表、交流させる。委員会活動などを想起させ自分の考えがどのように変化または深まったのか、発表させる。 ・振り返りの発表後、大型テレビで1名の児童の誠実な係活動の様子を写し、その児童にどんな気持ちで活動しているかを聞く。
終末	<p>6. 教師の説話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手のことを考え、真心をもって誠実に行動する仲間の姿から、自分も誠実な態度で生きようとする意欲を持たせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の委員会や係活動の映像を示しながら、誠実な態度で活動する仲間の姿のすばらしさを価値付ける。